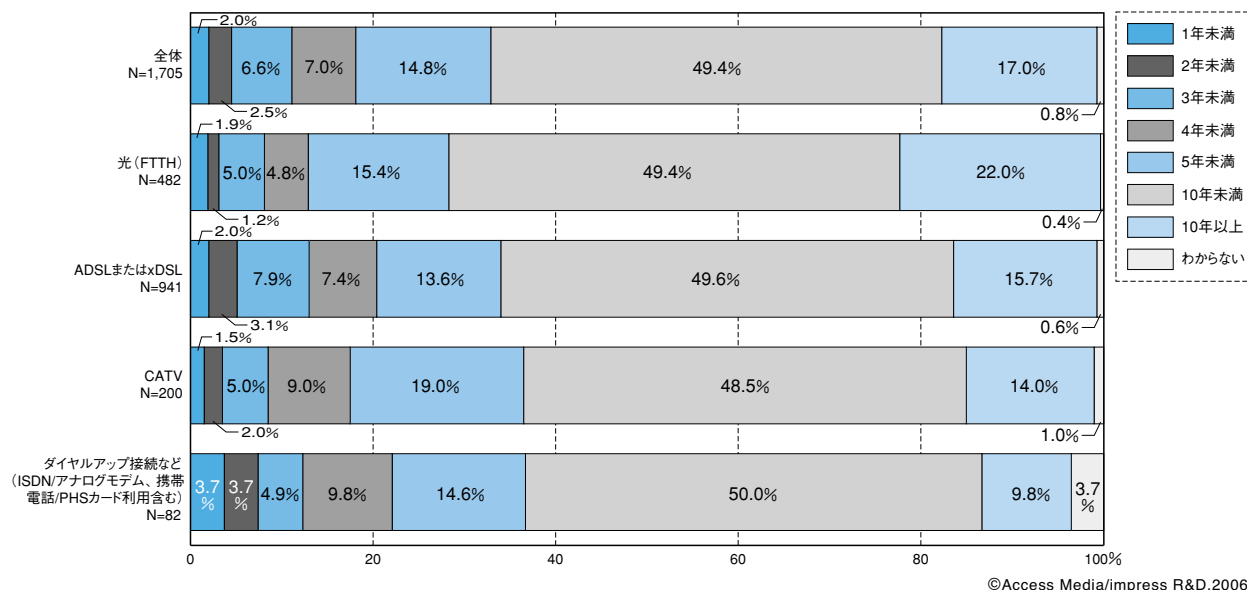


通信回線全体動向

インターネット利用歴は「5年以上10年未満」が過半数

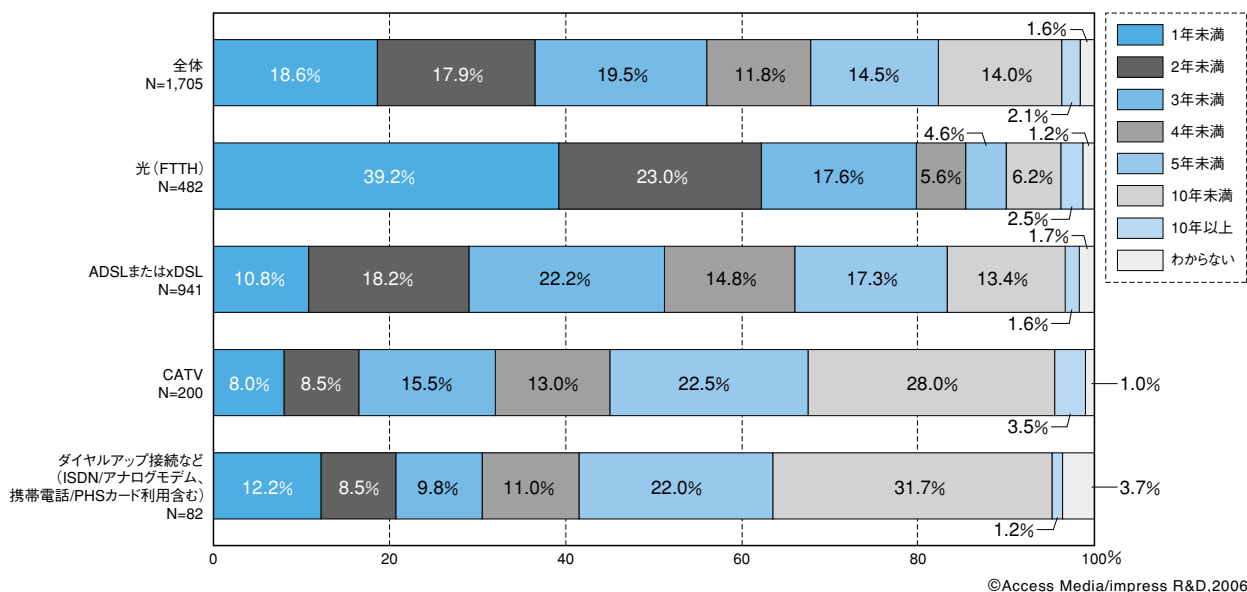
資料2-6-1 家庭でのインターネット利用歴 [全体と接続回線別]



自宅で主に利用している接続回線別にみたインターネット利用歴は、「5年未満」が3割を占める。接続回線別で見ると、光 (FTTH)、ADSLまたはxDSL、CATV、ダイヤルアップと、市場に浸透した時期が早い順で利用歴が長く、常に新しい通信回線を取り入れる傾向がみられる。

光 (FTTH) は利用歴が浅く、ADSL/xDSLは分散

資料2-6-2 現在利用中の接続回線の利用歴 [全体と接続回線別]

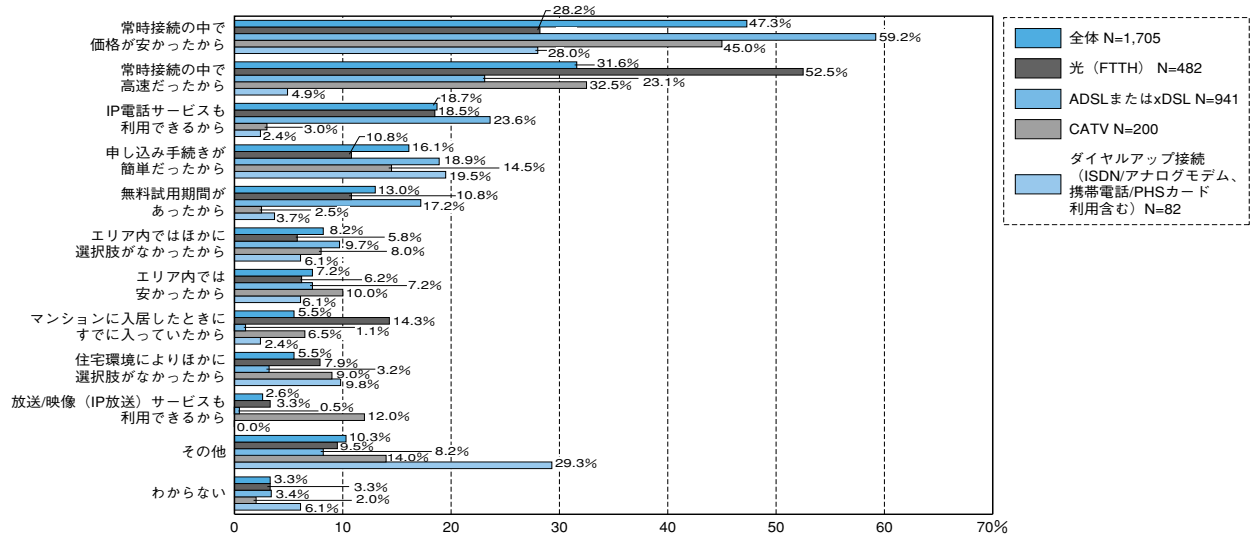


接続回線別では、利用歴は市場に紹介されて浸透した通信回線順である。光 (FTTH) は「1年未満」、「2年未満」が6割以上と利用歴は浅く、ADSLは「3年未満」を中心に「2年未満」、「5年未満」と利用歴は分散。インターネット早期からあるCATV、ダイヤルアップは「10年未満」と「10年以上」で5割を超えている。

通信回線全体動向

選択理由は、常時接続の中で価格が安く、高速だったから

資料2-6-3 インターネット接続回線の選択理由（複数回答）[全体と接続回線別]

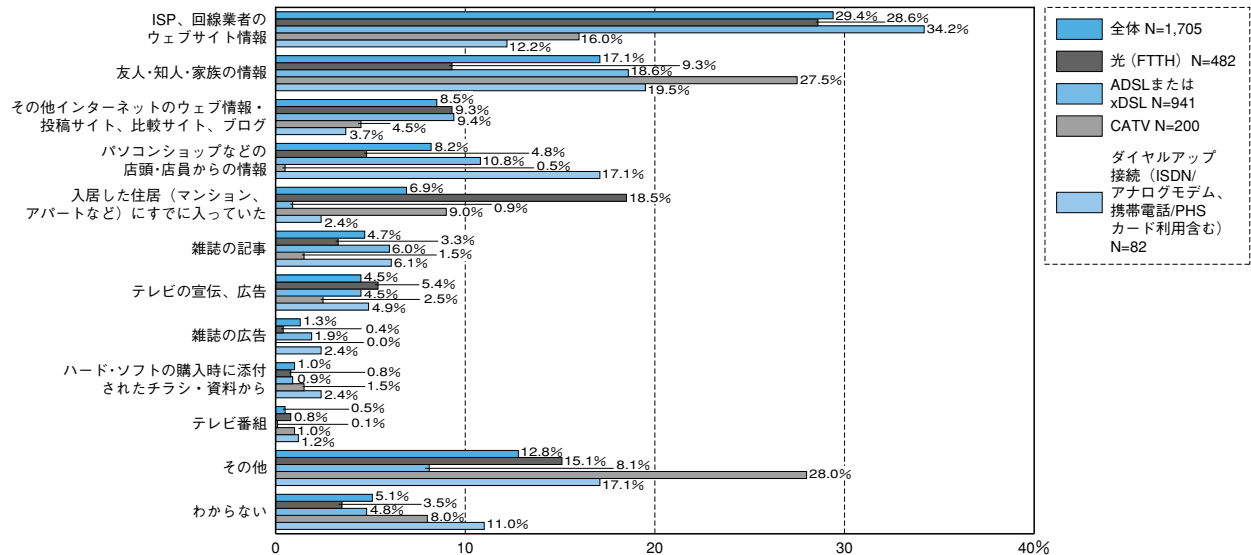


インターネット接続回線の選択理由は、常時接続であることがキーワードで、その後に「価格が安かったから」と「高速だったから」が上位に挙げられる。回線別でみると、光 (FTTH) では「常時接続の中で高速だったから」が高く、ADSLでは「常時接続の中では価格が安かったから」が高く、同じ常時接続ではあるが、通信回線の特性がよく出ている結果である。CATVは「放送/映像サービスも利用できるから」が高い。

©Access Media/ impress R&D,2006

最も重視したのはISP、回線業者のウェブサイト情報

資料2-6-4 現在の接続回線選択のために最も重視した情報源（単一回答）[全体と接続回線別]



©Access Media/impress R&D,2006

接続回線を選択する際の参考情報について聞いたものだが、インターネット上では、参考にできる情報が散在しているため、ここでは最も重視しているものを聞いてみた。「ISP、回線業者のウェブサイト情報」が29.4%と最も高く、提供者の情報を信頼していることがわかる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp